



平成20年度指定 高指第113号

須賀 眞一

【雅号】月眞 げっしん

生年／昭和19年 指定技術名／銅器・蠟型



ろうがたちゅうぞうほうがたすかしはないれ

蠟型鑄造砲型透花入

4代続く蠟型造形、鑄造技術の継承者である。熟練が必要な手びねりの技術を駆使し、蠟の特性を活かした繊細で優美な造形力をもって製作された作品は、いかにして作り上げられたか、常人の想像の域を超えたものがある。この気品あるシンプルな形状の花入は、蠟の有機的で複雑な造形を見事に鑄造することで、生き生きとした生命感を宿した蠟型の秀作である。

平成20年作

素材・技法／青銅・蠟型鑄造

寸法／高さ24cm×幅9cm×奥行9cm

【経歴】

昭和38年 父三代月眞に師事し、蠟型鑄造技術全般を習得
平成 3年 金沢にて個展開催(以後、3回開催)
平成 4年 大阪にて個展開催(以後、2回開催)
平成 9年 東京にて個展開催(以後、1回開催)
平成13年 横浜にて個展開催(以後、2回開催)
平成21年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
日展入選(以後、2回)
淡交ビエンナーレ入選